

## 令和6年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	4
事業名	新産業創造推進事業	会計	款	項	目
		一般	6	1	3
政 策	7 生活を支える担い手があり続けるために	課名	産業課		
施 策	7-1 農業の振興	係名	新産業創造推進室		

## 1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	目的（対象がどのような状態になっているか）	「マメマチプロジェクト」の取り組みを通じて、大豆生産者の大豆の収量向上につながり、魅力ある持続可能な農業となることを目指す。
事業内容	栄養価の高い大豆「ななほまれ」の安定生産 主力品種の「フクユタカ」の収量向上に向けた取り組み 「ななほまれ」を使用した魅力ある商品の創出 東員町産の大豆を使用した商品のPR		

## 2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	農産品またはそれを活用した特産品数	16	19	28	品	↑	20
	2	大豆の町内生産量	88	96	96	t	↑	128
	3							
	4							
	5							
			令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（予算）	
全体事業費（千円）			803		584		715	
財源内訳	うち一般財源		803		584		715	

## 3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善&lt;※主管課長記入&gt;

## (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅱ 継 続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

## (2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	・引き続き面積拡大、生産者の増加を目指す ・「種子用」としての栽培の実施 ・付加価値の高い大豆「ななほまれ」を使用した製品の開発 ・三重北農協と協議し、物流部分のコスト改善を図る	③取組の課題	・「ななほまれ」の種子生産を始めたが安定生産には時間がかかる。 ・大豆の収量がまだまだ低い。 ・大豆商品の魅力向上
②R6年度に実施した取り組み	・「ななほまれ」の種子用としての栽培を実証実験した。 ・「油揚げ」を含む大豆製品の販路拡大をおこなった。（ピアゴ東員店、スーパーサンシなど） ・イオンモールなどと協力して取り組みのPRを実施した。	④今後の改善計画	・「ななほまれ」の種子生産を継続的に取り組む ・桑名普及センターと連携し大豆の収量向上に取り組む ・魅力ある大豆商品の創出 ・「マメマチプロジェクト」のPR